

1 はじめに

本県では、県内水道が抱える水質の向上、災害対策等の充実、合理的な施設の整備・更新、経営健全化の促進、技術の確保などの様々な問題に対して、抜本的解決に向けた検討を長年にわたり続けてきたところであり、平成17年7月、学識経験者等による「県内水道経営検討委員会」を設置し、県内水道事業のあり方として望ましい経営形態等について提言を得ることとした。

「県内水道経営検討委員会」においては、平成19年2月、これからの県内水道にふさわしい統合・広域化の基本的な考え方とその実現のための手順を示した「これからの千葉県内水道について〔提言〕」を取りまとめたところである。

この提言を踏まえ、本県では、提言で「統合協議会を設置し、具体的な統合計画を策定することを強く望む」とされた九十九里地域・南房総地域における用水供給事業体と県営水道との水平統合について、関係機関と検討を進めることとし、平成19年5月、「九十九里地域・南房総地域水道実務者検討会」を設置した。

「九十九里地域・南房総地域水道実務者検討会」は、九十九里地域水道企業団（以下「九十九里（企）」という。）、南房総広域水道企業団（以下「南房総（企）」という。）、千葉県水道局及び千葉県総合企画部水政課で構成され、同検討会の円滑な運営に資するための下部組織として作業部会を設置し、平成19年度に両企業団の現状と課題について、平成20年度及び21年度に統合しない場合と統合する場合の長期見通しについて検討を行ってきた。

本報告は、同実務者検討会の検討結果について整理したものである。